

## 規制改革推進会議（第19回）終了後記者会見 議事概要

1．日時：平成29年7月20日（木）17:07～17:14

2．場所：合同庁舎4号館4階408会議室

3．出席者：

（議長）大田弘子

4．議事概要：

大田議長 お待たせしました。

規制改革推進会議を開催いたしました。5月に答申を出して、その後、今期の第1回目です。きょうはワーキングの体制を整えました。テーマについては、これからそれぞれのワーキングで詰め、また会議全体で詰めていきますので、テーマに関してきょうは議論しておりません。ワーキングの体制のみを議論いたしました。

まず、お手元の資料1-1をごらんください。前回と違っているところは、農業ワーキング・グループを農林ワーキング・グループ、水産ワーキング・グループの2つに分けました。それから、前は医療・介護・保育ワーキング・グループでしたけれども、今回は医療・介護ワーキング・グループにいたしました。そして、保育に関しては保育・雇用ワーキング・グループということで、雇用と組み合わせております。

この理由は、医療・介護・保育というのは非常に幅が広いということもありますし、保育と雇用はかなり密接に関係しているということ。それから、保育士の働き方ですとか、保育士の方をふやしていくという議論も大きくなっておりますので、雇用ワーキング・グループと合わせる形で議論をしていきます。

その他は特に変わっておりません。

資料1-3にワーキング・グループの構成委員の名簿があります。

農林ワーキング・グループの座長として飯田委員、水産ワーキング・グループの座長として野坂委員に御就任いただきます。金丸議長代理が農林水産統括ということで、農林と水産の両方の統括をいたします。医療・介護ワーキング・グループは林委員、保育・雇用ワーキング・グループは安念委員、投資ワーキング・グループは原委員が座長を務め、ホットライン対策チーム主査は江田委員です。

きょう決めましたことはもう一つ。9月に「規制改革ホットライン」の集中受付をいたします。ホットラインは極めて重要ですので、進め方自体、今、工夫しているところで、また決まりましたら御報告しますが、まずは集中受付を9月にやることを決定しました。昨年は11月に実施したのですけれども、要望がかなり寄せられて、11月ですとどうしても対応が遅くなってしまいますので、9月早々に集中受付を実施いたします。

私からは以上です。

司会 それでは、御質問がある方は挙手の上、御所属、お名前を言っていただきまして、簡潔に、原則1問でお願いいたします。

何かございますか。

記者 今後のスケジュールについて伺いたいのですけれども、来月早々にも内閣改造と言われていますが、党役員人事、内閣とありますが、次回の会合の大体の時期というか、テーマ設定になるかと思うのですけれども、その辺のスケジュール感を教えていただけますでしょうか。

大田議長 9月をめどに考えたいと思っています。この夏、それぞれのワーキングでも課題やフォローアップを議論することもあるでしょうし、そういうものを踏まえて9月に本格スタートを考えています。

記者 確認ですが、そこでテーマ設定ということになるのですか。

大田議長 そうです。

記者 重要テーマというか。

大田議長 はい。去年も重点課題をお示ししましたが、そのようなものをお示しいたします。

記者 もう一点、きょうの会議の中で加計学園の獣医学部を踏まえた獣医学部の規制緩和とか、そのような話は出ましたでしょうか。

大田議長 一つだけ、それは重要な規制改革のテーマだという発言はありましたが、これを具体的にどうという話はありませんでした。

記者 それは、取り上げてほしいという委員からの意見なのでしょうか。

大田議長 きょうはテーマ自体をまだ議論しておりませんので、テーマの議論は今後ということになります。

記者 ありがとうございます。

司会 ほかにございますか。

どうぞ。

記者 農業ワーキング・グループを農林と水産に分割した理由と、水産のほうで野坂さんを座長に据えた理由を教えてください。

大田議長 前回の答申の中にも林業、水産業のスタートはお示ししてあります。今期、林業、水産業に取り組みますので、一つのワーキング・グループで農業、林業、水産業を3つやるのは難しいですから、農林と水産業に分けたということです。

野坂委員はこの分野に御関心もおありでしたし、非常に一生懸命取り組んでくださる方ですので、お願いして、御本人にもお受けいただいたということです。

水産業というのはこれまで取り上げてきておりませんので、一からしっかりと取り上げていくということです。

司会 ほかにございますか。

どうぞ。

記者 先ほど、具体的な議論の内容はこれからというお話ですが、今、議長の中で、各5つのグループで、これは少なくとも入るのではないかとか、もしくはこれはやりたいという具体的なものがあったら教えてください。

大田議長 今それはありません。少なくとも私個人の意向で議題を決めるということではなく、皆さんの議論を聞きながら決めますので、今の時点では全く白紙です。もちろんフォローアップでやらなければいけないものは幾つもありますけれども、新しい課題というと、これは白紙です。

記者 そうしましたら、この6月に出した答申で積み残されたものがあると思うのですが、それらもほぼ入ってくるという理解でよろしいのですか。

大田議長 もちろんです。フォローアップはこれまでもかなり重視してきましたので、新しい課題と同じぐらいの力を入れてフォローアップをやってまいります。

司会 ほかはいかがですか。よろしいですか。

それでは、記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

大田議長 ありがとうございました。